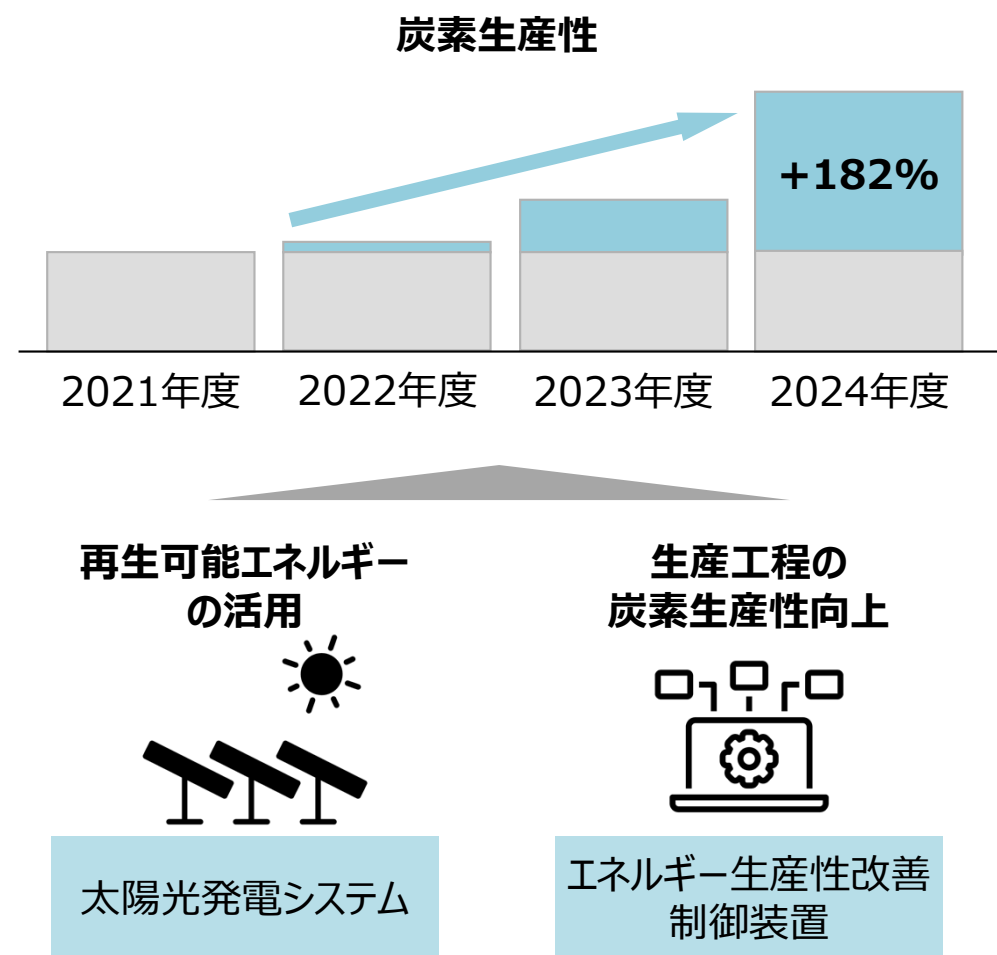


- 当社は、松阪工場の敷地内に自家消費用太陽光発電システムを配置し、また、当工場内のコンプレッサー、動力、空調に対し、センサー及び制御装置と連動し自動運転するエネルギー生産性改善制御装置の導入を行います。
- これにより、工場で排出されるCO2を減少させていくことで、付加価値の創出と環境への負荷低減の両立を図ります。

## <取組の内容のイメージ>



### 1. 事業適応計画の実施期間

2022年8月～2025年3月

### 2. 生産性向上目標

炭素生産性を182%向上させる。

### 3. 前向きな取組の内容

松阪工場の敷地内に自家消費用太陽光発電システムを配置し、年間想定発電量として400MWhを見込む。また、当工場内のコンプレッサー、動力、空調に対し、センサー及び制御装置と連動し自動運転するエネルギー生産性改善制御装置を導入し、電力消費等に伴うCO2排出量を381t減少させ、炭素生産性を向上させていく。

### 4. 支援措置

税制措置 (カーボンニュートラルに向けた投資促進税制)